

取組みのカテゴリ

火傷防止対策

危険の見える化

労働安全教育の工夫

企業情報

所在地：東京都

従業員：16,488名

背景

労働災害防止の活動は実施していたものの、労働災害の件数は横ばい状態が続いていました。そこで2015年に安全方針を策定して活動を強化しました。まずは、災害の型として多かった切創とヤケドの防止に取り組み、その後、労災件数の多い店舗を集中的に改善するよう努めました。

取組内容

1. 【火傷防止のためのパスタスチーマー導入】

- 店舗で行う危険作業を廃止し、別の方法に置き換えて安全を確保するように努めました。パスタをゆでる際の湯気やしぶきによるリスクを無くすために全店でパスタスチーマーを導入しました。



2. 【類似災害を防止するための注意喚起ポスターの掲示】

- 事故の型として多かった転倒・切創・火傷・腰痛を防止することを目的として、危険箇所や作業手順の見える化を実施しています。注意喚起のポスターは、繁忙期前のタイミングで、イラストや内容を変更し、新鮮な状態にするなどメンテナンスを実施することにより、ポスターの風化を防止しました。



3. 【労働安全教育のためのEラーニング導入】

- 2015年からタブレット端末でのEラーニングを導入し、紙の作業マニュアルは廃止しました。初期研修や調理の手順などすべてタブレット端末で効率よく学習できるため、教育にかかる時間が短縮されると同時に質の高い教育が可能となりました。

安全の成果

- 類似災害の発生は近年減少傾向にあります。

副次的効果

- パスタスチーマー導入前はオーバーボイルが発生してしまうことがあったが、導入後は無くなりました。またパスタの硬さにムラがなくなり、品質の向上に繋がっています。

取材年月：2020年11月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。